東部地区沿川まちづくり基本構想（案）【骨子】

江戸川区の東部地区は、瑞江駅を中心に土地区画整理事業が進められ、快適な環境の魅力ある街が形成されています。旧江戸川沿川の東篠崎エリアは、本区の大型公共スポーツ施設である“スポーツランド”や“水辺のスポーツガーデン”が点在しているほか、様々な事業が進められており、『江戸川区都市計画マスタープラン』において、新たな区民のにぎわい拠点となる“区民交流拠点”に位置づけられています。特に、近年、東篠崎の都営住宅の建替えが進み、さらに、江戸川清掃工場の建替え事業が始まり、これに伴い公共用地の有効活用を検討する必要が生じていることから、東篠崎エリアをはじめとする東部地区沿川について、地域の特徴を活かした魅力あるまちづくりを進めていきます。

対象地の概要

上位計画における対象地の位置づけ

■ **スポーツランド**
適正な土地利用を図り、都営住宅跡地や周辺の資源を活用したにぎわいを創出。

■ **水辺のスポーツガーデン**
情報発信を強化することで、スポーツを通じた観光・交流を促進。

■ **くつろぎの家跡地**
旧江戸川沿いの資源との連携を踏まえて、活用のあり方を検討。
隣接する清掃工場の余熱利用など、エネルギーの有効利用を促進。

対象地における関連計画と関連事業

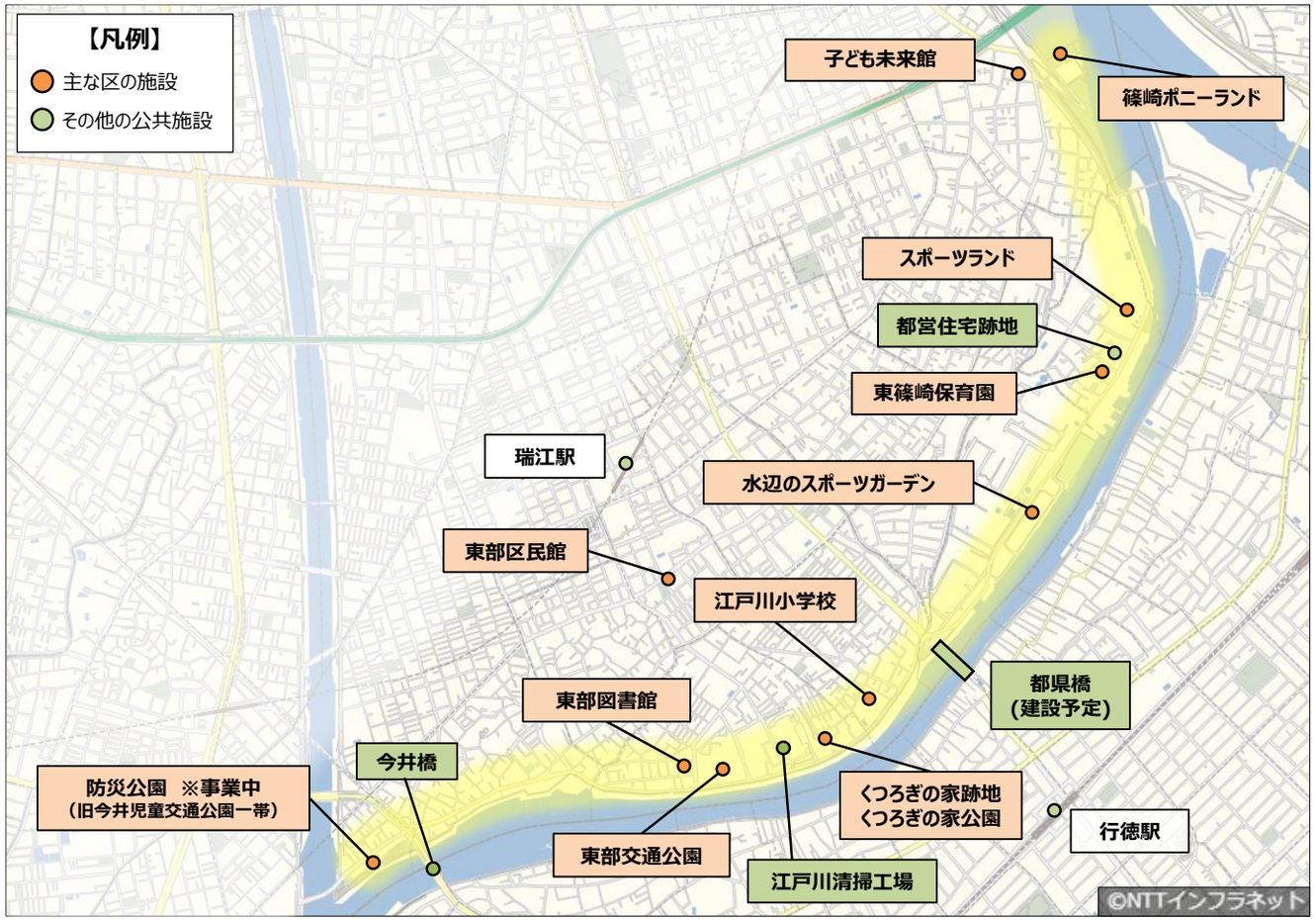
■ **スポーツ施設のあり方**　：区内の公共スポーツ施設のあり方について、将来にわたって区民のスポーツ環境向上を図るための基本方針を策定。

■ **清掃工場の建替え**　：江戸川清掃工場の建替えが令和９年に完了予定。

■ **都県橋の建設**　：江戸川区と市川市を結ぶ都県橋の整備が進行中。令和４年事業着手予定。

■ **スーパー堤防の整備**　：東京都によるスーパー堤防整備事業が進行中。

対象地の範囲と主な施設



公共施設整備の方向性

1．共生社会の実現　老若男女・障害の有無にかかわらず誰もが楽しめる交流拠点を整備し、共生社会の実現を目指します。

2．地域のにぎわい創出　地域の特色を踏まえ、スポーツを活かした、区内外から人々が集まるにぎわい拠点を創出します。

3．災害に強いまちづくり　防災機能を付帯させることで、災害時における周辺住民の安全を確保します。

4．公共施設･土地の有効活用　公共施設の再編・整備にあたっては、周辺の公共施設や公共用地との一体的な利活用を図ります。

5．関連事業との整合　清掃工場の余熱の有効活用や、都県橋の整備にあわせた近隣自治体との連携を検討します。

≪施設例≫
- にぎわい施設
- 大型スポーツ施設
- 誰もが一緒に遊べる公園
- 障害者スポーツ施設
- 余熱利用施設　など

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

発　行：江戸川区新庁舎施設整備部　計画課計画係
連絡先：03-5662-9017